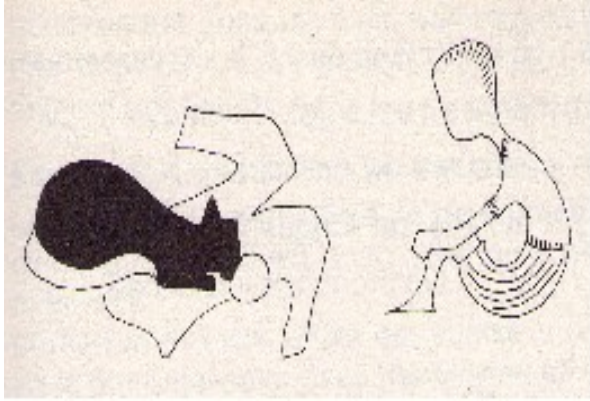
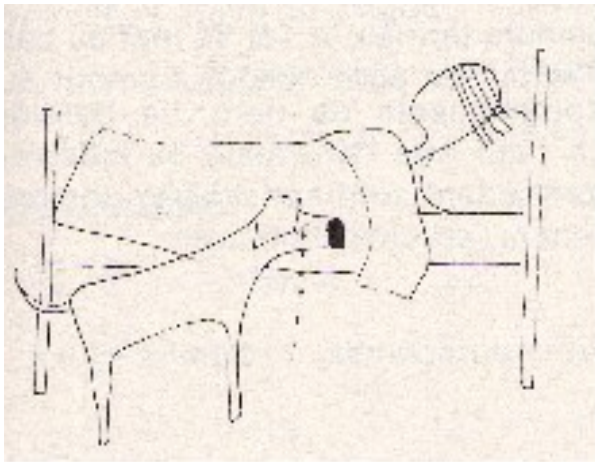


第8課 猫と犬

الدَّرْسُ الثَّامِنُ



هَذَا وَلَدٌ مَعَ قِطٍّ .
 الْوَلَدُ هُوَ نَذِيرٌ وَالْقِطُّ هُوَ قِطُّهُ .
 قِطُّ نَذِيرٍ أَسْوَدٌ لَكِنَّ ذَنْبَهُ أَبْيَضٌ .
 الْقِطُّ عَلَى صُدْرَةِ نَذِيرٍ الْبَيْضَاءِ .
 فِي فَمِهِ كُرَّةٌ صَغِيرَةٌ بَيْضَاءٌ .



هَذِهِ بِنْتُ مَعَ كَلْبَةٍ .
 الْبِنْتُ هِيَ زَيْنَبُ .
 زَيْنَبُ فِي فِرَاشِهَا لِأَنَّهَا مَرِيضَةٌ .
 الْكَلْبَةُ حَزِينَةٌ لِأَنَّ زَيْنَبَ مَرِيضَةٌ .

كَلْبَةُ زَيْنَبَ بَيْضَاءٌ لَكِنَّ أَنْفَهَا أَسْوَدٌ .
 ذَنْبُ قِطٍّ نَذِيرٍ أَبْيَضٌ وَأَنْفُ كَلْبَةِ زَيْنَبَ أَسْوَدٌ .

< 単語 >

مَعَ ...と共に
 قِطُّ 猫

لَكِنَّ しかし
 ذَنْبُ 尻尾

صُدْرَةٌ	ベスト、上着
فَمَ	口
كَلْبَةٌ	牝犬

لَأَنَّ	なぜなら
حَزِينٍ	悲しい
أَنْفٍ	鼻

<和訳>

一人の少年が猫と一緒にいます。
その少年はナジールで、その猫は彼の猫です。
ナジールの猫は黒いですが、その尻尾は白いです。
猫はナジールの白い上着の上にあります。
その口の中には白い小さなボールがあります。

一人の少女が牝犬と一緒にいます。
その少女はザイナブです。
ザイナブは彼女のベッドの中にいます。なぜなら、彼女は病気だからです。
牝犬は悲しいです。なぜなら、ザイナブが病気だからです。

ザイナブの牝犬は白いですが、その鼻は黒いです。
ナジールの猫の尻尾は白くて、ザイナブの牝犬の鼻は黒いです。

<文法>

◆ 1 強制対格語(1)

* **لَكِنَّ** (しかし) や **لَأَنَّ** (なぜなら) に先行された名詞は、たとえ主語でも強制的に対格に置かれます。このため、**لَكِنَّ** や **لَأَنَّ** は《強制対格語》と呼ばれます。

* **لَكِنَّ** の第1音節は長母音であることに注意してください。**لَكِنَّ** のように書かれることはありますが、**لَاكِنَّ** のように書かれることは決してありません。

◆ 2 句構成(2)

* 句の冒頭語に付加形容詞を加える時は、定冠詞を添えて補語名詞の後に置きます。

(例) **صُدْرَةٌ نَذِيرٍ السُّودَاءُ** ナジールの黒いチョッキ

* 句は3語以上で構成される場合もあります。

(例1) **ذَنْبٌ قِطٌّ نَذِيرٍ** ナジールの猫の尻尾

(例2) **أَنْفٌ كَلْبَةٍ زَيْنَبَ** ザイナブの牝犬の鼻

* 多数の語で構成された句の場合、句の冒頭語は文中の機能に応じて自由に格変化しますが、その他の語はいずれも補語名詞として、強制的に所有格に置かれます。句の最後の構

成語は文法的に限定されることも限定されないこともあります。その前の語はすべて文法的に限定されているとみなされ、定冠詞もタンウィーンもとることはありません。

◆ 3 接尾型代名詞(1)

* **هُ** と **هَا** は接尾型代名詞です。**هُ** は「彼の、(または) その」、**هَا** は「彼女の、(または) その」の意味です。

* これまで学んだ代名詞は《分離型代名詞》と呼ばれますが、この新しい型の代名詞は《接尾型代名詞》と呼ばれます。なぜなら、この型の代名詞は常に、他の語(名詞、動詞、強制対格語、及び前置詞)の接尾辞になるからです。

* 接尾型代名詞が名詞を修飾している場合、接尾型代名詞はその名詞の補語の働きをしているので、句の最後の構成要素とみなされます。

(例) **قَطُّهُ** 彼の猫

* 接尾型代名詞がついた名詞は、必然的に句の冒頭語になります。そのため文法的に限定されているとみなされ、定冠詞もタンウィーンもとりません。

* ター・マルブータで終わる名詞に接尾型代名詞がつく場合、ター・マルブータ (ة) はター・マフトゥーハ (ت) ¹ に変わります。

(例) **هَا** + **كَلْبَةٌ** (彼女の牝犬) → **كَلْبَتُهَا**

* 接尾型代名詞がついた名詞は自由に格変化します。即ち、文中の機能に応じて語尾が変わります。

(例 1) **كَلْبَتُهَا بَيْضَاءُ** 彼女の牝犬は白いです。[主格]

(例 2) **كَلْبَتُهَا مَعَ زَيْنَبَ** ザイナブは彼女の牝犬と一緒にいます。[所有格]

(例 3) **لَكِنَّ ذَنَبَهُ أَبْيَضُ** しかし、その尻尾は白いです。[対格]

* 最後に、接尾型代名詞は、(長母音、短母音を問わず) 母音 [i] に先行された場合、発音が **ه** に変わることに注意してください。

(例 1) **فَمُهُ صَغِيرٌ** 彼の口は小さいです。

(例 2) **فِي فَمِهِ كُرَةٌ** 彼の口にはボールがあります。

<練習>

[1] 次の質問に答えなさい。

(1) **مَا مَعَ نَذِيرٍ؟**

(2) **لِمَنْ هَذَا الْقَطُّ؟**

(3) **هَلْ هُوَ أَبْيَضٌ؟**

(4) **كَيْفَ هُوَ؟**

¹ 「マルブータ」(مَرْبُوطَةٌ)は「結ばれた」、「マフトゥーハ」(مَفْتُوحَةٌ)は「開かれた」という意味で、いずれも文字の形状に着目した命名です。

- (5) كَيْفَ ذَنْبُهُ ؟ (6) عَلَامَ هُوَ ؟
 (7) كَيْفَ صُدْرَةُ نَذِيرٍ ؟ (8) مَا فِي فَمِ الْقِطِّ ؟
 (9) كَيْفَ هَذِهِ الْكُرَّةُ ؟ (10) مَا مَعَ زَيْنَبَ ؟
 (11) أَيْنَ زَيْنَبُ ؟ (12) لِمَاذَا هِيَ فِي فِرَاشِهَا ؟
 (13) لِمَاذَا الْكَلْبَةُ حَزِينَةٌ ؟ (14) هَلْ كَلْبَةُ زَيْنَبَ سَوْدَاءُ ؟
 (15) كَيْفَ أَنْفُهَا ؟ (16) كَيْفَ ذَنْبُ قِطِّ نَذِيرٍ ؟
 (17) كَيْفَ أَنْفُ كَلْبَةِ زَيْنَبَ ؟

[注] مَنْ = لِمَنْ + مَنْ 誰のもの / عَلَامَ = عَلَى + مَا 何の上に

لِمَاذَا = لِمَاذَا + لِمَاذَا 何のために、なぜ (短縮形は لِمَ)

[2] 次の文をアラビア語に訳しなさい。

- (1)ここに小さな子供 [非限定] が彼の犬とともにいます。
 (2)その小さな子供の犬は白いですが、その耳は黒いです。
 (3)ナジールの黒い猫は悲しくありません。しかし、ザイナブの白い牝犬は悲しいです。
 (4)ナジールの猫の尻尾は長くありません。
 (5)その小さな子供は彼のベッドの上にあります。
 (6)彼の猫は彼と一緒にいません。
 (7)その庭師の犬の頭の上には小さな緑色の葉 [非限定] があります。
 (8)その先生の赤い鉛筆は彼の机の上にあります。
 (9)その黒い猫はナジールの白いズボンの上にいます。

[3] 次の文に母音符号をつけ、日本語に訳しなさい。

- (1) الجنان في ظل شجرة بستانه . (2) ليس للجنان مظل لأنه في ظل الشجرة .
 (3) مرشته الزرقاء على الأرض قربه . (4) هذا الذنب القصير ليس ذنب كلب : هو ذنب قط .
 (5) هذا ولد مع كلبه في البستان . (6) هذه زينب مع كلبتها البيضاء .
 (7) كلبة زينب حزينة لأن زينب مريضة . (8) هذا نذير مع قطه الأسود .
 (9) القط ليس حزينا لأن نذيرا ليس مريضا . (10) ليس لنذير كلبة .